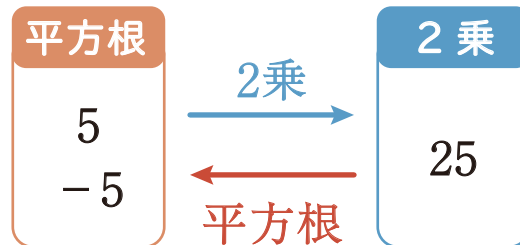


平方根

2乗すると a になる数を、 a の^{へいほうこん}平方根という。

5や-5は、2乗すると25となるので、25の平方根は5と-5の2つの数がある。



2乗すると負の数にはならないため、負の数の平方根はない。

0を2乗すると0となるため、0の平方根は0となる。

平方根

- ・2乗すると a になる数を、 a の平方根という。
- ・平方根には絶対値が等しく、符号が異なる2つの数がある。
例) 25の平方根は、5と-5の2つの数となる。
- ・負の数の平方根はない。
- ・0の平方根は0となる。

平方根は、^{こんごう}根号という $\sqrt{\quad}$ の記号を使ってあらわすことができる。

根号の記号を使ってあらわしたとき、たとえば $\sqrt{2}$ はルート2と読む。

根号を使った平方根のあらわし方

たとえば3の平方根は、根号という $\sqrt{\quad}$ の記号を使って、次のようにあらわすことができる。

$$\sqrt{3} \quad -\sqrt{3}$$

2の平方根は $\sqrt{2}$, $-\sqrt{2}$ の符号が異なる2つの数となり、これらをまとめて $\pm\sqrt{2}$ とあらわすことができる。